

第九 具体的な目標等について

① 結核に関する特定感染症予防指針の論点（抜粋） P 1

[視点 3 資料]

② 具体的な目標候補（案） P 2

③ 予防計画の指標について

＜結核研究所 吉山氏提出資料＞ P 3

「結核に関する特定感染症予防指針」の議論の視点(案)

予 防 指 針	指針に基づく施 策	議論の視点	対 応 策
第九 具体的な目標等			
一 具体的な目標			
<p>結核対策を総合的に推進することにより、我が国が、世界保健機関のいう中まん延国・結核改善足踏み国を脱し、近い将来、結核を公衆衛生上の課題から解消することを目標とする。具体的には、国においては、二千十年(平成二十二年)までに、喀痰塗抹陽性肺結核患者に対する直接服薬確認治療率を九十五パーセント以上、治療失敗・脱落率を五パーセント以下、人口十万人対り患率を十八以下とすることを目指すこととする。</p>		<p>3. 今後、効果的な結核対策の計画、実施、評価を行うために、具体的な目標としてどのようなものが考えられるか。</p>	
二 目標の達成状況の評価及び展開			
<p>一に定める目標を達成するためには、本指針に掲げた取組の進捗状況について、定期的に把握し、専門家等の意見を聴きながら評価を行うとともに、必要に応じて、取組の見直しを行うことが重要である。</p>			

具体的な目標候補（案）

指 標	数値目標
Outcome indicator	
・ 50 歳未満結核死亡率	
・ 全結核罹患率	14.0 人/10 万人
・ 肺結核中再治療割合	
Program indicator	
患者発見（有症状受診）	
・ 再治療肺結核中菌陽性割合	
治療	
・ コホート分析結果の治療失敗割合、治療中断割合	5%以下
・ 全結核患者中 DOTS 実施率	
接触者健診	
・ 50 歳未満患者発見中の接触者健診発見割合（3 年平均）	
・ 接触者健診受診率	100%
・ 接触者発病検査受診率	100%
・ LTBI と判断された者のうち、薬を始めた割合	
・ TLTI 開始者数のうち、完了した割合	
その他の健診	
・ 既知の社会的結核発病ハイリスク者（まん延国出身者、住所不定者）のうち、健診発見割合（過去 5 年間）	
・ デインジャーグループ健診として、医療機関、社会福祉施設での健診実施率（従業員ベース）	100%
BCG	
・ BCG 6 ヶ月未満接種率	
院内感染対策	
・ 女性 20-59 歳中結核患者に占める看護師等の割合	

Outcome indicator : 最終的に結核対策でめざす結果目標（結核による死亡ほか健康状態の悪化を減らすなど）

Program indicator : 対策の各項目の実施目標

LTBI : 潜在性結核感染症

TLTI : 潜在性結核感染症治療

予防計画の指標について

吉山崇

1. はじめに

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」）第九条では「厚生労働大臣は、感染症法の予防の総合的な推進を図るために基本的な指針（以下「基本指針」という）を定めなければならない」、第十条では、「都道府県は、基本手指針に即して、感染症の予防のための施策の実施に関する計画（以下この条において「予防計画」という）を定めなければならない」第十一条、「厚生労働大臣は、感染症のうち、特に総合的に予防のための施策を推進する必要があるものとして厚生労働省令で定めるものについて、当該感染症にかかわる原因の究明、発生の予防及びまん延の防止、医療の提供、（中略）、予防の総合的な推進を図るための指針（次項において「特定感染症予防指針」という）を作成し公表するものとする」としている。結核は特定感染症予防指針を定める疾患となっており、その具体的目標として、

1. 喀痰塗抹陽性肺結核患者に対する直接服薬確認治療率を95%以上
2. 治療失敗・脱落率を5%以下
3. 人口10万対り患率を18以下とする

ことをめざす。となっている。今回、結核の特定感染症予防指針をみなおすにあたり、目標とする指標について検討した。

分担研究者である吉山が素案を作り、参考資料(米国の指標、同指標の日本語訳、結核管理図、大阪市の予防計画の対策項目別目標、健康危機管理体制の評価指標効果の評価に関する研究(主任研究者、北川定謙)の分担「結核の健康危機管理」(分担研究者：永井伸彦)で作成した平時の対応評価指標。以下「北川班」)を参考にしながら、ワークショップ(参加者後述)で検討した。本稿は吉山の素案にそのワークショップの議論を重ねてえた試案となる。

2. 指標の設定の考え方

指標の条件として

1. 既存のデータから得られる、
または、既存のデータから得られない場合データを整備することが必要かつ可能。
2. 罹患率低下のために明らかに有用
3. 数値目標に十分な妥当性を持って設定できる
条件を満たすものを優先し、3条件を満たさないが有用と考えるものを代替候補とした。

指標の種類としては、outcome indicator（最終的に結核対策でめざす、結核による死亡ほか健康状態の悪化を減らす、の結果を表示する）と program indicator（対策の各項目の実施目標）の2種類をおいた。ただし、program indicatorについては、programによっては、指標がほしい項目であるが指標設定が困難と思われる項目も存在した。下線付きで示した部分が、指標設定が困難な項目である。

3. outcome indicator (3.A、3.B、3.Cの3指標を提案する)

3.A. 50歳未満結核死亡率

意義：疾患死亡、は疾患による重篤な最終事象である。高齢者死亡については、死亡の原因がはっきりしないことが多い。若年者の結核死亡をゼロに近づけることが必要である。

議論(留保する点)：若年者の死亡の一部は基礎疾患を有しそのための死亡か結核による死亡かはっきりしない者もある。

その他の議論：若年死亡となるほどの重症はホームレスなどが多く、対策の一部のみを反映する可能性はあるのではないかと議論もあったが、死亡者はホームレス以外にもそれなりに見られており、一部のみを反映するのではないかと、との主張もあった。

3.B. 全結核罹患率

意義：対策がうまくいけば罹患率は減少する。1990年代以降の諸国のHIVのように他の疾患の影響を一部受けるが、米国の1990年代前半の経験は結核対策を強化することにより、HIVが必ずしも改善していなくても、結核を減らすことができることをしめしている。

数値目標について：年率5%減少すれば、2015年には14/10万、2020年には10.8/10万

都道府県計画における目標設定：各都道府県では、基準年から毎年一定割合(5%位が目標か?)で減少した場合、目標年にどの値となるかを計算し、設定する。

代替案：全結核罹患率の減少率(指標として直接的ではないのでインパクトが少ない)、20-40歳代結核罹患率、年間感染危険率(QFTサーベイしなければならぬので実際は定期的情報収集は不可能)など議論されたが、それぞれの年における全結核罹患率を目標とすることが妥当と判断した。

3.C. 肺結核中再治療割合

意義：治療がうまくいけば、再治療となる割合が減少するはずである。

議論(留保する点)：再治療といっても1980年以前の弱い治療の時代の治療のちの再発もある。よって、最近5年間の再発の割合のほうが合理的。さらに、

再発の母数としては過去の治療を受けて生存している者(例えば、2010年なら2005-09年に結核治療を受けて生存しておる者)を母数としたほうが論理的ではある。しかしながら、計算が困難になる点から、上記指標が有用と思われる。

その他の議論：過去の治療がうまくいけば、耐性結核が減少する。耐性結核は過去の治療プログラムのまずさの反映であると同時に、病気の重さとしては感受性結核より重篤であるため、耐性結核率を outcome indicator にすべきという議論があったが、耐性検査精度の問題、INH 耐性で5%以下、多剤耐性で1%以下という数字では信頼すべき数字が得られない、等の課題があり、耐性結核の割合は指標としては却下となった。

4. program indicator

結核対策というプログラムの構成要素としては、いまだにWHOのDOTSの考え方が有効と考える。日本的には、1. 政府の関与、2. 有症状受診診断のためのシステムの構築、3. 治療システムの構築とDOT、(日本ではロジスティックスが問題とならないので)、4. 発生動向調査の整備、5. 研修システムであり、これらの要素以外に日本の結核対策として行っていることが、6. 接触者検診、7. 管理検診、8. その他の健診、9. BCG、10. 院内感染対策である。これらのプログラムの一つ一つについて指標を設定する。

4.1. 政府の関与(提案すべき指標無)

人員の配置数

訪問した自治体の保健師数はほぼ一定であり、その数に比して余りに少ない場合は対応が必要であるが、予防計画の指標にはなじまないと思われる。米国では、人員計画の設定を、指標としている。

内部評価、外部評価(サーベイランス委員会など)のシステムの存否

多くの自治体で、評価システムがないことは問題ではあるが、これは、指針の指標にはおそらくなならない(まずは、評価システムをつくるべき、という結論しかでてこない)。その活動状況は指標にはなるかもしれない(たとえば結核対策についての勧告数など)。なお、北川班においても、地域課題の分析ができることを平時の評価基準の1にいれているが、「外部委員を入れて課題分析を行なっている」を評価良好の基準としている。

予防計画の有無

監査の際には予防計画、重点目標の有無が検討されているが、予防計画、目標の存在は必須であり、指標にはなじまない。

4.2. 患者発見(有症状受診、提案すべき指標無)、診断の質(指標4.2.Aを提案)

患者発見(有症状受診)

管理図では、発病—初診 2 ヶ月以上割合、初診—診断 1 ヶ月以上割合、発病—診断 3 ヶ月以上割合、をあげているが、「遅れ」は数値にはなるが、入力情報の確からしさに大きく影響を受けるため指標とならない。

4.2.A 再治療肺結核中菌陽性割合

意義：菌が見つからないものには、結核ではないものが含まれる。よって、菌陽性割合は高いほうがよい、という議論はある。特に再治療結核は、菌陽性を原則とし、菌陰性結核は、その診断の質に疑問符がつく。

議論(留保する点)：これを指標とすると、菌陰性で再治療が必要と医師が判断し実際に治療している者が報告されなくなる危険がある。

代替案：有症状受診肺結核中の菌陽性割合、これは、高いほうが診断の質が高いのかもしれないが、重症が多ければそのほうが高くなる。菌陽性肺結核中の塗抹陽性肺結核の割合が 50%以下、などの指標と組み合わせて使ってもよいかもしれない。

4.3. 治療 (指標 4.3.A を提案する、DOTS を指標とする場合 4.3.B も追加するが、これは Action plan としてはよいかもしれないが指標とするには疑問符あり)

4.3.A. コホート分析結果の治療失敗割合、治療中断割合

意義：コホート分析のうち(高齢など)死亡の影響を受けず、治療の質が悪い時には上昇する。管理図から容易に得られる。北川班でも目標数値としている。

弱み：失敗、中断のアルゴリズムが現状でよいかどうか疑いはある。

数値目標：5%以下。

治療薬の選択

治療に関する指標の案として標準治療の推進という観点から 80 歳未満初回治療患者中標準治療の割合(B:不必要に PZA を避けるべきではないが、必要な場合は PZA を避けても治療を完了することがより重要)を検討した。この数字は、管理図、北川班、米国でも採用しているが、最近はこの割合は上昇トレンドからプラトー状態になっており、また、この数字を重視されたため、真の治療内容が医療機関から報告されない事例の報告もみられている。かつては、RFP, PZA を含まない不可思議な治療が課題であったが、今日 RFP を含まない治療はほとんどなく、RFP を含み PZA を含まない治療は治療失敗の危険を増やすとはいえ、指標として評価対象とするほど重要かどうか疑問である。

入院施設

結核患者(耐性、合併症)に対して適切な治療施設があるかどうかは重要であ

るが、指標の設定は困難。管理図では、入院期間中央値をあげているが、入院の短期化は費用節減には役立つが、患者減少に直接は役に立たず、費用節減は重要ではあるが、現在多い高齢者の場合、どこかに入所となると、結核病棟以外の方が、費用が高いこともしばしば見られており、予防計画の指標として適切かどうか疑問が残る。

外来治療

外来治療が適切に行なわれているかどうかは、上記治療の質で判断されるが、治療の質に入らない患者満足度(遠い通院など)についても指標はほしいが設定困難。管理図では、治療完遂者での治療期間中央値をあげているが、適切な治療期間は薬の内容によって決まっており、かつては長すぎる治療が問題であったが、最近の外来治療では治療が短すぎる例も散見されるなど、何を目標としてよいかわからない。よって、予防計画の指標として適切かどうか疑問が残る。

DOTS

4.3.B 全結核患者中 DOTS 実施率(保健所と医療機関の連携のもとに服薬確認計画を作成しその計画に沿って治療を受けている者の割合)

意義: 2003年に策定された日本版 DOTS は喀痰塗抹陽性=入院患者を目標として DOTS を行う、21世紀型日本版 DOTS 戦略として策定したが、治療の中断(短い治療)は、塗抹陰性など外来治療で多くみられている。そのため、全結核患者に対して DOTS を行うように特定感染症予防指針を改訂すべきである。

議論(留保する点): 上記 DOTS 実施率は、計算が困難。保健所単位で DOTS を塗抹陰性でも行っているかどうか把握する、と言う代替指標なら入手がより容易。

なお、北川班では院内 DOTS の把握(B: 情報入手は容易であり目標の設定は<全箇所を実施>容易である)、地域 DOTS の把握(B: 情報入手は容易であり目標の設定は<全例実施か限定事例実施か>容易である)、DOTS カンファレンス、コホート検討会の実施有無など服薬支援体制の有無を指標にあげ、監査においても DOTS の実施状況(B: 具体的には DOTS 実施要綱の有無、DOTS の A/B/C 支援実施者割合、コホート検討会実施の有無)は監査の項目として挙げられている。ワークショップの議論では、地域連携パスの導入を指標としてはどうかとの意見もあったが、パスの導入は YES/NO の議論あるいは質的な議論になり数値化が難しい、という意見が出された。

4.4. 発生動向調査(疫学調査)の整備

コホート情報不明割合、培養検査結果判明割合、菌陽性結核中薬剤感受性検査結果判明割合 3 指標についてワークショップで議論したが Action plan にはよいが program indicator としては如何かと議論あり。なお、培養検査結果と

感受性検査結果把握割合は管理図にあり、塗抹培養同定感受性すべての把握ができていた割合を北川班では挙げ、米国指標でも培養検査結果の報告をあげている。また、北川班では、初診日の適切な入力の有無をあげている。適切な日になっているかどうか検証が難しいと思われる。

Genotyping の実施割合が米国の指標となっている。日本での現在の実施率は低い。今後、Genotyping による感染経路のサーベイランスを行う方向にある特定感染症予防指針で改訂を行う場合、Genotyping 実施割合も指標に挙げられるとの議論があった。

4.5. 研修

研修によりどれだけ改善したかの評価は困難である。北川班では、実施の計画性を評価しており、米国でも教育する機会を有する協力者を得られる割合が増加する、を指標として挙げている。

4.6. 接触者検診 (4.6.A-4.6.E まで 5 指標をあげた。4.6.B-D については接触者を正確に台帳記載する必要があり保健所の新たな負担となるかもしれない)

4.6.A 50 歳未満患者発見中の接触者健診発見割合 (3 年平均)

意義：接触者健診の状況を総合的に判断できる。接触者健診をしっかり行なっていれば接触者健診でみつける患者数が多いはず。ただし、高齢者が多ければ再燃例が多く接触者健診発見は少なくなるため、ほとんど未感染の世代のみで指標とする (指標以上の年齢層も未感染者は当然いるので接触者検診を行うべきであり、指標以上の年齢層の接触者検診を軽視することに結び付くなら、年齢制限は取り外したほうがよいであろう)。なお、現在なら 50 歳 (または 55 歳) は 10 年後なら 60 歳 (または 65 歳) となる。

弱み：数が少なく変動が大きい。

数値目標：オランダなどの割合を用いる。

4.6.B 接触者感染健診受診率

分母：結核患者の接触者として感染検査の対象としてピックアップした人数

分子：上記のうちツ反、QFT を受けた人数

意義：接触者健診の実施状況を直接反映

この指標を得るためには、正確な分母を得るために、接触者の台帳を (院内感染対策として病院に依頼した分も含めて) 作成し、健診実施状況を把握しなければならない。よって、保健所の業務負担は増加すると予測される。

数値目標：100%

4.6.C 接触者発病検査受診率

分母：結核患者の接触者であるが感染検査対象とならなかった人数 + 感染

検査で感染を否定されなかった人数(陽性、判定保留、陰性でも検査対象)

分子：上記のうち1年後X線検査を受けた人数

意義：接触者健診の実施状況を直接反映。北川班は終息まで追跡できるかどうか、を挙げている。

この指標を得るためには、正確な分母を得るために、接触者の台帳を(院内感染対策として病院に依頼した分も含めて)作成し、健診実施状況を把握しなければならない。よって、保健所の業務負担は増加すると予測される。

数値目標：100%

4.6.D. LTBI と判断された者のうち薬を始めた割合

分母：結核患者の接触者としてピックアップした人 QFT 陽性かつ発病しておらず潜在結核感染治療を行うべきと判断した人数。

分子：上記のうち、実際に潜在結核感染治療を開始した人数

米国、EU の指標にあり。この指標を得るためには、正確な分母を得るために、接触者の台帳を(院内感染対策として病院に依頼した分も含めて)作成し、健診実施状況を把握しなければならない。よって、保健所の業務負担は増加すると予測される。

4.6.E. TLTI 開始者数のうち完了した割合

意義：TLTI がきちんと行われているかがわかる。

米国、EU の指標にあり。

そのほか、議論となった指標としては、

代替指標1：新登録患者1人当たり接触者健診実施数

意義：接触者健診実人数がわかる。管理図にあり。

これまでは、保健所運営報告で出ていた数値は、接触者検診実施フィルム数等で人数ではなかったが、今後健診実施人数が得られる。

代替指標2：潜在結核感染治療対象者人数/塗抹陽性結核患者数

意義：必要とされる者に対して、QFT 検査などを行っているかが判明する。

議論(留保する点)：QFT 陽性者が多く見つかるという事は、患者発見が遅い、場合と、接触者検診を網羅的に行っているため新たな感染者の見逃しが少ない、場合とがある。

健診の質の評価

実際にはQFTの質の評価はほとんど行なわれていない(これは結核研究所で改善すべき点ではある)。フィルム評価会は行われていない。読影技術については二重読影が行なわれているが。ということで、ほとんど質の評価システムが存在しないため、現状では不可能であろう。

4.7. 管理検診：重要性から判断すると、指標不要、とする意見であった。

治療終了後2年後の時点での病状把握率（分母：3年前（現在なら2007年）登録者数、分子：年末現在（2007年コホートは2008年に通常治療終了する。登録は2年間なので2010年年末現在）での治療中、治療終了後再発無を確認、治療中でもなく再発無を確認してもいない、の分類に属する割合、あるいは、年末総登録中病状不明割合、などがあげられるが、重要性は低い。

4.8. その他健診（ハイリスクとデインジャーグループでの健診を指標として
4.8.A, 4.8.B)

4.8.A 既知の社会的結核発病ハイリスク者（蔓延国出身者、住所不定者）のうち健診発見割合（過去5年間）

意義：社会的ハイリスク者へのハイリスク者健診の状況を総合的に判断できる

弱み：診断されていないハイリスク者についてわからない。もともとハイリスク者が少ない地域では意味をなさない。ハイリスク者が少ない地域では数変動する。

数値目標：現在の標準的な定期健診発見率は10%のため、それより高い数値とする。

定期健診

監査では健診実施率が検討され、北川班では記載無ですが、患者発見率も低く一般には重要性から判断すると指標不要。

4.8.B デインジャーグループ健診として医療機関、社会福祉施設での健診実施率（従業員ベース）

分母：医療機関、社会福祉施設の従業員数

分子：同上のうちで結核発病有無を確認されている人数

意義：健診実施状況が正確にわかる。医療機関でも診療所では健診実施率が低い。

弱点：パートなど短時間労働者の場合、健診を強制することが可能か？の疑問あり。

目標：100%。

4.9. BCG

4.9.A BCG6ヶ月未満接種率

分母：BCG接種対象となった時点でその地域にいる児数。（が得られなければ出生数などで代替してよい）

分子：分母のうちBCGを受けた人数

4.10. 院内感染対策

4.10.A 女性20—59歳中結核患者に占める看護師等の割合

意義：看護師の結核罹患率の高さによって、院内感染の蔓延度の指標とする。

弱点：看護師は健診発見など早期発見が多く、健診がなければ自然治癒していた例なども掘りこしている可能性があり必ずしも結核患者中の割合を正確には反映しない。ただし、とまづ陽性とするとう軽症のうちに見つかって治療する例が多いので、実際よりも低くなってしまいこれも実情を反映しない。

代替指標1として、院内集団感染の数は数が少なく目標として設定できない。

代替指標2として、院内感染対策が行なわれているかどうか、監査にはいった医療機関のうち院内感染対策のマニュアル、担当者の存在は院内感染対策があることを意味し、それらの割合は意味があるが、対策がうまくいっているかどうか指標としてはかなり迂遠である。ただし、北川班では、健診未受診者の把握指導と院内感染対策に結核が入っているかどうかの確認を、指標としている。

4.11. 関係機関とのネットワーク

北川班では、連携有り無し、を指標としているが、連携無、という状況はありうるだろうか？

4.12. 普及啓発

北川班では、医療機関、高齢者施設、教育機関、その他のハイリスク者への普及啓発を、計画的に実施しているかどうかを評価している。計画性、で評価することは妥当だろうか？

4.13. 危機時の対応

北川班では、危機時(集団感染、多剤耐性結核、対応困難例)に適切な対応をしたかどうか、を指標化している。平時のマニュアルは必要であるが、同時に平時のマニュアルがあっても対応できてないこともある。予防計画に書き込むのは困難か。

ワークショップ

配布資料：

議論の前提について

- ・指針における2010年までの具体的な目標について
- ・「結核に関する特定感染症予防指針」について
- ・感染症法にもとづく基本指針等の体系図
- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（抄）

議論のたたき台

- ・予防計画の指標について

指標参考資料

- ・National TB Program Objectives（米国の目標）
- ・米国の評価指標（上記目標の日本語訳）
- ・結核の統計2010より、結核管理図、など。
- ・大阪市の結核予防計画の指標
- ・自治体評価シート（結核研究所発生動向調査プロジェクト）
- ・平時対応評価指標一覧（厚生科学研究「北川班」）

データ

- ・大森先生提供資料（都道府県の数値）

ワークショップ参加者

阿彦 忠之	山形県健康福祉部	医療政策監	次長
前田 秀雄	東京都福祉保健局	感染症危機管理担当部長	
重藤 えり子	独）国立病院機構東広島医療センター	感染症診療部長	
露口 一成	独）国立病院機構近畿中央胸部疾患センター	感染症研究部長	
藤田 明	東京都立多摩総合医療センター	呼吸器科	部長
吉田 道彦	品川区保健所	保健予防課	課長
加藤 誠也	（公財）結核予防会結核研究所	副所長	
伊藤 邦彦	（公財）結核予防会結核研究所	臨床・疫学部	部長
大森 正子	（公財）結核予防会結核研究所	臨床・疫学部	副部長
内村 和弘	（公財）結核予防会結核研究所	臨床・疫学部	主任研究員
永田 容子	（公財）結核予防会結核研究所	対策支援部	保健看護学科 科長
吉山 崇	（公財）結核予防会結核研究所	企画主幹	
オブザーバー			
水野 智美	厚生労働省健康局結核感染症課	課長補佐	

全結核罹患率 (10万対)、県市別掲

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	5区間平均	4区間平均
全国	23.3	22.2	20.6	19.8	19.4	19.0	3.1	3.8
前年対減少%		4.8	6.8	4.1	2.1	2.2		
1 北海道	16.6	14.4	13.5	13.7	13.1	12.1	2.8	4.2
2 青森県	22.4	19.6	18.8	16.5	21.3	17.3	-4.6	1.5
3 岩手県	14.1	14.1	13.2	12.1	13.8	11.3	-4.4	4.7
4 宮城県	16.2	11.5	11.8	10.6	11.4	9.6	2.2	4.1
5 秋田県	15.4	15.4	14.6	13.3	11.6	11.4	4.8	7.1
6 山形県	10.5	13.4	12.8	11.9	11.9	12.3	-2.5	2.0
7 福島県	15.9	13.4	12.5	12.3	13.5	11.6	-0.4	3.3
8 茨城県	19.1	16.9	17.6	15.4	14.2	15.1	6.6	2.5
9 栃木県	17.0	17.8	14.8	12.9	14.0	13.0	1.8	7.0
10 群馬県	15.1	14.6	13.7	14.0	12.4	10.2	-0.6	8.4
11 埼玉県	19.3	18.6	17.4	18.0	16.4	16.7	3.4	2.5
12 千葉県	21.4	22.5	20.0	18.9	17.8	17.3	2.8	6.2
13 東京都	30.4	29.9	26.5	25.9	25.1	25.0	3.5	4.2
14 神奈川県	17.4	17.4	16.5	16.0	16.5	15.1	-0.8	3.4
15 新潟県	17.0	15.0	15.4	13.4	11.8	11.0	5.2	7.3
16 富山県	19.4	18.4	17.9	18.1	14.6	14.6	5.2	5.2
17 石川県	19.9	17.5	16.2	17.3	14.6	14.9	6.1	3.6
18 福井県	19.4	16.9	17.2	16.7	14.5	15.6	6.8	1.7
19 山梨県	12.2	14.6	13.1	12.0	11.3	11.0	0.5	6.9
20 長野県	10.4	10.7	11.8	10.3	10.2	11.3	2.0	-1.7
21 岐阜県	25.5	24.1	22.7	22.4	19.7	21.4	6.5	2.6
22 静岡県	23.0	19.4	20.4	17.1	15.0	14.3	6.8	6.9
23 愛知県	20.4	21.3	17.8	19.5	19.0	18.5	0.4	3.0
24 三重県	19.7	18.7	19.1	18.2	17.3	16.7	1.7	2.8
25 滋賀県	19.8	17.0	15.0	15.7	17.5	15.7	-0.4	1.6
26 京都府	21.0	21.7	21.1	18.9	16.8	19.5	7.0	2.2
27 大阪府	32.4	29.7	27.2	25.1	24.4	23.7	4.7	5.5
28 兵庫県	26.4	24.6	23.2	21.0	21.4	20.3	2.9	4.6
29 奈良県	24.5	22.8	22.5	17.9	20.0	21.3	4.6	0.9
30 和歌山県	23.5	25.8	21.2	23.5	24.5	22.3	-3.4	2.9
31 鳥取県	20.8	20.1	18.4	15.2	13.8	15.4	9.9	5.8
32 島根県	17.2	17.4	17.5	15.9	17.7	18.4	0.1	-1.7
33 岡山県	20.7	16.0	16.8	18.0	17.1	16.6	2.5	-1.1
34 広島県	19.1	18.6	16.3	17.5	18.1	18.2	1.0	0.2
35 山口県	20.5	19.2	20.1	18.7	17.8	17.6	2.6	2.1
36 徳島県	22.5	24.1	24.0	22.1	22.7	19.6	-3.3	4.8
37 香川県	21.7	25.7	21.6	19.0	20.8	20.5	-0.3	4.9
38 愛媛県	18.3	18.4	18.4	19.5	15.2	16.2	4.3	2.5
39 高知県	22.9	21.6	19.5	19.3	17.1	18.7	7.3	3.3
40 福岡県	25.5	20.4	20.6	19.4	19.9	19.4	3.8	1.2
41 佐賀県	27.3	23.0	16.6	20.0	18.2	16.9	4.8	5.8
42 長崎県	24.4	23.4	26.4	24.6	24.6	22.1	-2.6	1.0
43 熊本県	20.8	21.1	19.7	19.1	18.9	18.6	1.6	3.1
44 大分県	22.6	22.0	22.9	19.2	23.8	21.9	-3.6	-1.0
45 宮崎県	18.9	16.3	17.6	16.5	17.0	16.1	0.6	0.2
46 鹿児島県	26.2	24.9	20.9	20.9	21.9	20.3	1.7	4.6
47 沖縄県	24.9	22.8	20.8	18.4	20.1	17.0	0.2	6.6
M1 札幌市	15.0	15.4	11.4	12.9	11.0	12.6	7.5	3.4
M2 仙台市	14.4	12.7	12.2	12.6	13.3	13.8	2.2	-2.3
M3 さいたま市	24.3	21.3	18.4	19.8	18.8	16.6	2.1	5.6
M4 千葉市	23.2	21.4	21.3	18.6	18.7	22.1	7.2	-1.4
M5 横浜市	25.5	24.0	21.3	19.8	18.5	19.6	7.2	4.7
M6 川崎市	27.8	25.0	26.1	23.0	22.7	23.3	4.4	1.5
M7 新潟市				13.4	12.6	13.6		
M8 静岡市			19.0	17.0	18.8	16.7		
M9 浜松市				18.6	18.0	20.8		
M10 名古屋市	36.1	34.3	31.5	30.6	31.5	31.0	2.4	2.4
M11 京都市	29.2	27.6	24.9	26.0	23.0	23.5	4.9	3.7
M12 大阪市	61.8	58.8	57.0	52.9	50.6	49.6	3.5	4.1
M13 堺市				27.8	28.9	23.8		
M14 神戸市	36.1	34.5	32.3	27.3	27.2	26.2	4.6	6.5
M15 岡山市						17.9		
M16 広島市	14.5	18.0	14.4	14.9	14.3	15.2	0.4	3.6
M17 北九州市	27.8	27.0	20.5	21.4	24.0	20.8	-1.0	5.3
M18 福岡市	24.2	22.4	21.8	21.2	20.9	19.3	1.1	3.6

喀痰塗抹陽性肺結核罹患率(10万対)、県市別掲

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	5区間平均	4区間平均
全国	9.0	8.9	8.2	8.0	7.7	7.6	2.8	3.8
前年対減少%		1.2	7.3	2.7	3.8	1.2		
1 北海道	5.4	5.2	5.4	5.2	5.4	5.2	-0.3	-0.5
2 青森県	7.7	8.6	7.2	5.3	8.4	7.0	-9.5	0.3
3 岩手県	4.8	4.3	5.7	4.2	5.4	4.6	-8.3	-5.4
4 宮城県	5.9	4.9	4.4	5.3	4.5	3.7	0.0	5.6
5 秋田県	5.2	5.4	5.6	5.3	5.3	5.1	-1.5	1.3
6 山形県	4.7	6.2	5.1	5.5	4.6	5.1	0.8	3.8
7 福島県	5.5	4.6	4.7	4.2	5.7	4.7	-7.3	-2.3
8 茨城県	7.4	6.0	6.1	6.3	4.9	4.9	7.5	4.2
9 栃木県	6.2	7.4	6.4	6.1	6.8	4.3	-13.8	10.9
10 群馬県	5.9	5.9	5.1	6.4	5.4	4.2	-4.5	6.2
11 埼玉県	7.8	7.7	7.2	7.6	6.5	6.9	4.2	2.5
12 千葉県	8.9	9.2	8.1	7.5	7.6	6.8	0.6	7.1
13 東京都	12.2	12.0	10.2	10.4	9.7	9.9	4.5	4.6
14 神奈川県	7.3	7.9	7.1	6.2	6.3	5.5	-0.4	8.1
15 新潟県	5.1	6.2	6.0	4.1	4.4	3.7	-2.9	10.6
16 富山県	6.9	6.1	5.9	6.2	4.9	5.2	7.3	3.3
17 石川県	7.2	7.2	5.9	6.8	5.4	6.5	8.2	0.8
18 福井県	7.4	5.8	7.0	6.3	4.9	5.0	6.8	2.9
19 山梨県	4.2	5.3	6.0	5.1	5.4	5.0	-7.9	1.1
20 長野県	5.1	3.8	4.2	4.1	4.5	4.2	-0.3	-2.4
21 岐阜県	9.4	9.3	9.4	9.2	7.4	8.7	7.2	0.8
22 静岡県	8.1	7.7	7.4	6.3	6.2	5.9	4.0	6.3
23 愛知県	7.5	7.8	6.9	7.2	7.0	6.9	0.5	3.1
24 三重県	7.7	7.3	7.7	8.4	7.7	7.0	-2.1	0.8
25 滋賀県	8.1	8.0	5.3	7.2	7.8	7.5	-3.0	-1.4
26 京都府	7.6	8.9	9.5	6.5	7.3	8.0	0.6	0.8
27 大阪府	12.1	12.3	11.4	10.1	10.3	9.6	1.4	5.9
28 兵庫県	10.0	9.8	9.7	8.5	8.7	9.0	3.0	1.9
29 奈良県	7.8	8.7	10.6	9.0	8.8	8.8	-3.0	-1.3
30 和歌山県	8.5	9.6	8.7	8.6	9.9	10.2	-3.0	-1.9
31 鳥取県	8.7	7.1	5.8	5.7	5.2	5.1	8.9	7.7
32 島根県	6.1	7.3	8.0	6.6	8.0	7.8	-7.0	-2.8
33 岡山県	7.7	6.7	7.1	8.0	6.4	6.5	3.3	0.0
34 広島県	6.8	6.6	7.6	7.8	7.8	7.4	-3.6	-3.2
35 山口県	8.3	9.0	7.6	8.4	8.5	8.5	-1.1	0.9
36 徳島県	9.6	8.4	7.7	9.3	7.7	6.8	1.1	4.0
37 香川県	8.4	8.5	7.2	6.2	7.3	6.4	-0.5	5.9
38 愛媛県	5.9	7.1	6.8	6.5	5.2	6.3	5.0	1.9
39 高知県	8.0	8.9	7.0	7.7	6.5	7.6	6.0	2.6
40 福岡県	9.1	7.6	8.1	7.6	8.9	7.9	-2.7	-1.7
41 佐賀県	9.8	8.3	5.8	8.7	6.9	7.3	4.2	-1.2
42 長崎県	8.0	8.0	8.6	7.7	8.6	7.4	-4.9	1.4
43 熊本県	8.0	9.4	7.1	7.2	7.1	6.0	-2.3	9.9
44 大分県	8.5	8.4	7.9	7.1	9.0	10.3	0.5	-6.5
45 宮崎県	9.8	6.9	8.1	7.3	7.1	7.7	6.3	-3.5
46 鹿児島県	9.6	8.2	6.7	7.3	7.7	7.8	3.8	0.4
47 沖縄県	8.8	6.6	7.2	5.5	6.0	6.9	8.5	-2.5
M1 札幌市	6.9	7.1	5.2	5.3	3.2	5.1	19.9	1.0
M2 仙台市	6.1	4.8	5.2	5.2	4.0	5.5	13.0	-5.9
M3 さいたま市	10.7	9.7	7.8	7.5	8.4	5.5	-6.7	11.5
M4 千葉市	7.9	9.2	8.2	7.4	6.5	7.3	5.4	5.0
M5 横浜市	9.4	9.8	7.6	7.9	6.7	7.7	8.2	4.9
M6 川崎市	11.5	11.2	10.6	11.0	8.6	7.9	3.4	7.8
M7 新潟市				5.3	4.8	5.1		
M8 静岡市			7.7	8.2	8.5	7.7		
M9 浜松市				6.5	6.6	9.6		
M10 名古屋市	17.0	15.7	13.4	11.1	11.8	12.4	7.6	5.2
M11 京都市	12.6	12.1	10.7	10.4	9.3	9.7	6.8	5.3
M12 大阪市	25.9	25.2	26.3	25.8	21.5	23.9	5.5	0.7
M13 堺市				12.9	14.8	8.8		
M14 神戸市	11.9	11.3	11.3	11.1	10.2	8.9	0.0	5.7
M15 岡山市						7.5		
M16 広島市	5.4	8.2	6.7	6.3	6.3	6.1	-6.5	7.0
M17 北九州市	11.2	11.2	8.0	8.5	7.5	8.0	8.1	6.7
M18 福岡市	9.3	8.9	8.8	8.3	7.5	7.9	4.9	2.8

薬剤感受性検査結果

2009年新登録 県市別掲	培養陽性	薬剤感受性検査結果							感受性検査結果把握(%)	感受性検査結果把握中		
		INH,RF P両剤耐 性(MDR)	INH耐 性(MDR 除く)	RFP耐 性(MDR 除く)	その他 耐性あり	HRSEす べてに 感受性	INH,RF P未実施	その他 不明		感受性 検査結 果把握 (n)	MDR(%)	INH(%) 複数耐性含む 全てのINH耐 性
全国	10,902	56	290	24	533	6,017	53	3,929	63.5	6,920	0.8	4.2
1 北海道	204	1	2	0	11	80	2	108	46.1	94	1.1	2.1
2 青森県	108	3	2	0	3	52	0	48	55.6	60	5.0	3.3
3 岩手県	50	0	0	0	2	24	0	24	52.0	26	0.0	0.0
4 宮城県	71	0	1	1	7	44	0	18	74.6	53	0.0	1.9
5 秋田県	61	0	1	0	1	20	0	39	36.1	22	0.0	4.5
6 山形県	92	0	3	0	6	48	0	35	62.0	57	0.0	5.3
7 福島県	150	1	5	0	8	75	1	60	59.3	89	1.1	5.6
8 茨城県	145	0	5	0	4	48	0	88	39.3	57	0.0	8.8
9 栃木県	124	0	2	1	3	38	0	80	35.5	44	0.0	4.5
10 群馬県	106	0	3	0	2	56	0	45	57.5	61	0.0	4.9
11 埼玉県	411	2	12	0	22	202	1	172	57.9	238	0.8	5.0
12 千葉県	410	2	11	0	12	269	2	114	71.7	294	0.7	3.7
13 東京都	1,308	5	50	2	48	707	0	496	62.1	812	0.6	6.2
14 神奈川県	217	0	2	0	8	98	0	109	49.8	108	0.0	1.9
15 新潟県	81	2	1	0	1	28	0	49	39.5	32	6.3	3.1
16 富山県	72	0	2	0	11	42	0	17	76.4	55	0.0	3.6
17 石川県	96	0	5	0	3	55	0	33	65.6	63	0.0	7.9
18 福井県	34	0	0	0	0	3	0	31	8.8	3	0.0	0.0
19 山梨県	51	0	2	0	2	34	2	11	74.5	38	0.0	5.3
20 長野県	113	0	5	2	6	59	0	41	63.7	72	0.0	6.9
21 岐阜県	162	0	2	0	4	61	1	94	41.4	67	0.0	3.0
22 静岡県	124	0	2	0	4	71	0	47	62.1	77	0.0	2.6
23 愛知県	542	3	8	0	21	349	6	155	70.3	381	0.8	2.1
24 三重県	136	1	4	0	2	41	0	88	35.3	48	2.1	8.3
25 滋賀県	91	1	1	2	2	27	0	58	36.3	33	3.0	3.0
26 京都府	122	2	0	1	5	66	2	46	60.7	74	2.7	0.0
27 大阪府	508	2	13	2	20	250	2	219	56.5	287	0.7	4.5
28 兵庫県	386	7	12	4	30	236	1	96	74.9	289	2.4	4.2
29 奈良県	169	0	7	0	33	92	0	37	78.1	132	0.0	5.3
30 和歌山県	142	2	12	0	7	110	4	7	92.3	131	1.5	9.2
31 鳥取県	39	0	0	0	0	10	0	29	25.6	10	0.0	0.0
32 島根県	62	1	2	0	0	33	0	26	58.1	36	2.8	5.6
33 岡山県	104	1	1	0	1	58	0	43	58.7	61	1.6	1.6
34 広島県	141	0	1	0	3	35	0	102	27.7	39	0.0	2.6
35 山口県	93	0	3	0	2	45	0	43	53.8	50	0.0	6.0
36 徳島県	57	0	2	0	1	28	0	26	54.4	31	0.0	6.5
37 香川県	64	0	0	0	0	9	0	55	14.1	9	0.0	0.0
38 愛媛県	51	0	0	0	2	16	0	33	35.3	18	0.0	0.0
39 高知県	72	0	2	1	2	60	4	3	90.3	65	0.0	3.1
40 福岡県	203	1	2	0	7	91	0	102	49.8	101	1.0	2.0
41 佐賀県	22	0	0	0	1	6	0	15	31.8	7	0.0	0.0
42 長崎県	119	0	3	0	1	33	0	82	31.1	37	0.0	8.1
43 熊本県	62	0	1	0	0	5	0	56	9.7	6	0.0	16.7
44 大分県	130	1	3	1	5	69	2	49	60.8	79	1.3	3.8
45 宮崎県	71	0	0	0	1	21	0	49	31.0	22	0.0	0.0
46 鹿児島県	155	0	3	0	8	62	2	80	47.1	73	0.0	4.1
47 沖縄県	134	0	3	0	14	106	4	7	91.8	123	0.0	2.4
M1 札幌市	118	0	1	0	7	85	0	25	78.8	93	0.0	1.1
M2 仙台市	81	1	2	0	1	42	0	35	56.8	46	2.2	4.3
M3 さいたま市	131	0	8	0	10	85	2	26	78.6	103	0.0	7.8
M4 千葉市	114	0	2	0	4	75	0	33	71.1	81	0.0	2.5
M5 横浜市	401	1	7	2	44	253	2	92	76.6	307	0.3	2.3
M6 川崎市	170	2	7	0	17	117	1	26	84.1	143	1.4	4.9
M7 新潟市	50	0	0	0	0	19	0	31	38.0	19	0.0	0.0
M8 静岡市	74	0	1	0	2	51	0	20	73.0	54	0.0	1.9
M9 浜松市	67	0	1	0	1	19	0	46	31.3	21	0.0	4.8
M10 名古屋市	383	1	6	2	11	244	2	117	68.9	264	0.4	2.3
M11 京都市	193	1	5	0	20	151	0	16	91.7	177	0.6	2.8
M12 大阪市	825	9	38	2	65	679	8	24	96.1	793	1.1	4.8
M13 堺市	110	1	8	0	7	92	1	1	98.2	108	0.9	7.4
M14 神戸市	58	1	0	0	5	42	1	9	82.8	48	2.1	0.0
M15 岡山市	50	0	0	0	1	23	0	26	48.0	24	0.0	0.0
M16 広島市	50	0	0	1	1	1	0	47	6.0	3	0.0	0.0
M17 北九州市	56	0	2	0	1	34	0	19	66.1	37	0.0	5.4
M18 福岡市	106	1	1	0	0	33	0	71	33.0	35	2.9	2.9

再治療（全結核）前回治療開始年

2009年新登録 縣市別掲	再治療 全結核	前回治療開始年								再治療中 前回治療 が2年前 以内 (09-07)	再治療中 前回治療 が5年前 以内 (09-04)	全結核中 前回治療 が2年前 以内 (09-07)	全結核中 前回治療 が5年前 以内 (09-04)
		2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003 以前	不明				
全国	1,751	30	194	156	102	82	56	889	242	21.7	35.4	1.6	2.6
1 北海道	33		3	2	1	4	1	20	2	15.2	33.3	1.1	2.5
2 青森県	11		1	1	1		1	7		18.2	36.4	0.8	1.7
3 岩手県	23	1	4	3	3	1		9	2	34.8	52.2	5.3	7.9
4 宮城県	14	1	2	1		1		7	2	28.6	35.7	3.2	4.0
5 秋田県	12		3		1			7	1	25.0	33.3	2.4	3.2
6 山形県	17		1		2			9	5	5.9	17.6	0.7	2.1
7 福島県	28	1	3	1		1		19	3	17.9	21.4	2.1	2.5
8 茨城県	28		3		1	2	1	17	4	10.7	25.0	0.7	1.6
9 栃木県	25		2	2		1	1	13	6	16.0	24.0	1.5	2.3
10 群馬県	13			1	2	3		7		7.7	46.2	0.5	2.9
11 埼玉県	53	1	6	10	7	1	2	23	3	32.1	50.9	1.7	2.7
12 千葉県	62	3	10	15	1	3		27	3	45.2	51.6	3.1	3.6
13 東京都	226	5	22	19	8	8	11	114	39	20.4	32.3	1.4	2.3
14 神奈川県	32		1	3	3	3	1	15	6	12.5	34.4	0.7	1.9
15 新潟県	15		1	2	1		1	9	1	20.0	33.3	1.7	2.9
16 富山県	15							14	1	0.0	0.0	0.0	0.0
17 石川県	8		1					6	1	12.5	12.5	0.6	0.6
18 福井県	6			1	2			3		16.7	50.0	0.8	2.4
19 山梨県	10		1	1	1	1		5	1	20.0	40.0	2.1	4.2
20 長野県	10		3	2	1	1		3		50.0	70.0	2.1	2.9
21 岐阜県	35		4	4	1	4	3	11	8	22.9	45.7	1.8	3.6
22 静岡県	14		3			3	1	6	1	21.4	50.0	0.9	2.2
23 愛知県	63		16	7	4	3	4	29		36.5	54.0	2.4	3.6
24 三重県	28			1	4	1		20	2	3.6	21.4	0.3	1.9
25 滋賀県	18		5		1	1		10	1	27.8	38.9	2.3	3.2
26 京都府	17		2	2	1		3	8	1	23.5	47.1	1.8	3.6
27 大阪府	101	1	5	5	9	4	5	61	11	10.9	28.7	0.9	2.3
28 兵庫県	65	1	5	9	1	3	1	44	1	23.1	30.8	1.8	2.4
29 奈良県	28		1	1	2	5		15	4	7.1	32.1	0.7	3.0
30 和歌山県	36	1		4	2			21	8	13.9	19.4	2.2	3.1
31 鳥取県	3				1	1		1		0.0	66.7	0.0	2.2
32 島根県	4							2	2	0.0	0.0	0.0	0.0
33 岡山県	17	1	2	3		2	1	8		35.3	52.9	2.9	4.4
34 広島県	11		2	1	1	1	1	3	2	27.3	54.5	1.0	1.9
35 山口県	10		1	1	2	2	2	2		20.0	80.0	0.8	3.1
36 徳島県	2							2		0.0	0.0	0.0	0.0
37 香川県	13		2	1				9	1	23.1	23.1	1.5	1.5
38 愛媛県	19	2	4	2				11		42.1	42.1	3.4	3.4
39 高知県	10		2	2	1	1		4		40.0	60.0	2.8	4.2
40 福岡県	28	2	3	3	1		1	15	3	28.6	35.7	1.6	2.0
41 佐賀県	10	1	1	1				5	2	30.0	30.0	2.1	2.1
42 長崎県	30		4	1		1	1	16	7	16.7	23.3	1.6	2.2
43 熊本県	16		4	1	3	1	1	6		31.3	62.5	1.5	3.0
44 大分県	12			2	4			5	1	16.7	50.0	0.8	2.3
45 宮崎県	25		2	1	2	1	1	17	1	12.0	28.0	1.6	3.8
46 鹿児島県	28		3	3	1		1	14	6	21.4	28.6	1.7	2.3
47 沖縄県	25	1	1	2				17	4	16.0	16.0	1.7	1.7
M1 札幌市	14		3	1				7	3	28.6	28.6	1.7	1.7
M2 仙台市	20	1	1		2			15	1	10.0	20.0	1.4	2.8
M3 さいたま市	10		2	1	1			6		30.0	40.0	1.5	2.0
M4 千葉市	4			1	3					25.0	100.0	0.5	1.9
M5 横浜市	40	2	5	2	1	2	1	16	11	22.5	32.5	1.3	1.8
M6 川崎市	29	1	5	2	1			10	10	27.6	31.0	2.4	2.7
M7 新潟市	5		2					3		40.0	40.0	1.8	1.8
M8 静岡市	6			2				4		33.3	33.3	1.7	1.7
M9 浜松市	20		1	2	1	1	1	6	8	15.0	30.0	1.8	3.6
M10 名古屋市	62		8	8	3	2	1	29	11	25.8	35.5	2.3	3.1
M11 京都市	21	1	5	1	1	1	1	10	1	33.3	47.6	2.0	2.9
M12 大阪市	128	1	12	8	11	9	5	48	34	16.4	35.9	1.6	3.5
M13 堺市	15	1	2	2				6	4	33.3	33.3	2.5	2.5
M14 神戸市	5		1					1	2	20.0	40.0	0.2	0.5
M15 岡山市	5		1					4	1	20.0	20.0	0.8	0.8
M16 広島市	13	1	1	1	1	1		4	4	23.1	38.5	1.7	2.8
M17 北九州市	6		1	2				3		50.0	50.0	1.5	1.5
M18 福岡市	39		5	2	1	2	1	20	8	17.9	28.2	2.5	3.9

再治療（肺結核）前回治療開始年

2009年新登録 縣市別掲	再治療 肺結核	前回治療開始年								再治療中 前回治療 が2年前 以内 (09-07)	再治療中 前回治療 が5年前 以内 (09-04)	全結核中 前回治療 が2年前 以内 (09-07)	全結核中 前回治療 が5年前 以内 (09-04)
		2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003 以前	不明				
全国	1,468	23	163	126	83	68	49	752	204	21.3	34.9	1.6	2.7
1 北海道	27		2	1	1	3	1	17	2	11.1	29.6	0.9	2.3
2 青森県	10		1	1	1			6		20.0	40.0	1.1	2.3
3 岩手県	17		4	2	3			7	1	35.3	52.9	5.2	7.8
4 宮城県	11	1	1			1		6	2	18.2	27.3	1.9	2.9
5 秋田県	10		3					6	1	30.0	30.0	3.0	3.0
6 山形県	16		1		2			8	5	6.3	18.8	0.9	2.6
7 福島県	22	1	3	1				15	2	22.7	22.7	2.6	2.6
8 茨城県	16		2		1	1	1	9	2	12.5	31.3	0.6	1.5
9 栃木県	17		1	2		1		8	5	17.6	23.5	1.5	2.0
10 群馬県	13			1	2	3		7		7.7	46.2	0.6	3.8
11 埼玉県	48	1	5	10	7	1	2	20	2	33.3	54.2	2.0	3.2
12 千葉県	51	3	8	13	1	3		22	1	47.1	54.9	3.4	4.0
13 東京都	189	3	17	17	7	8	11	96	30	19.6	33.3	1.4	2.4
14 神奈川県	23			2	2	1		13	5	8.7	21.7	0.5	1.1
15 新潟県	12		1	1	1			8	1	16.7	25.0	1.6	2.3
16 富山県	15							14	1	0.0	0.0	0.0	0.0
17 石川県	6		1					4	1	16.7	16.7	0.7	0.7
18 福井県	4			1	1			2		25.0	50.0	1.1	2.1
19 山梨県	9		1	1	1	1		4	1	22.2	44.4	2.9	5.7
20 長野県	9		3	1	1	1		3		44.4	66.7	2.4	3.6
21 岐阜県	24		2	2		2	2	10	6	16.7	33.3	1.2	2.4
22 静岡県	13		3			2	1	6	1	23.1	46.2	1.3	2.6
23 愛知県	54		13	7	4	3	3	24		37.0	55.6	2.7	4.1
24 三重県	26				4	1		19	2	0.0	19.2	0.0	2.1
25 滋賀県	15		5			1		8	1	33.3	40.0	3.0	3.7
26 京都府	13		2	1			2	7	1	23.1	38.5	1.7	2.9
27 大阪府	76	1	4	4	6	2	5	45	9	11.8	28.9	0.9	2.3
28 兵庫県	55	1	5	7	1	3	1	36	1	23.6	32.7	2.0	2.8
29 奈良県	23		1	1	1	4		13	3	8.7	30.4	0.8	2.9
30 和歌山県	32	1		3	2			20	6	12.5	18.8	2.2	3.4
31 鳥取県	2					1		1		0.0	50.0	0.0	1.7
32 島根県	4							2	2	0.0	0.0	0.0	0.0
33 岡山県	15	1	2	3		2	1	6		40.0	60.0	3.7	5.5
34 広島県	10		2	1	1	1	1	2	2	30.0	60.0	1.2	2.4
35 山口県	9		1		2	2	2	2		11.1	77.8	0.5	3.7
36 徳島県	2							2		0.0	0.0	0.0	0.0
37 香川県	11			1				9	1	9.1	9.1	0.7	0.7
38 愛媛県	16	2	3	2				9		43.8	43.8	4.4	4.4
39 高知県	9		2	2		1		4		44.4	55.6	3.8	4.8
40 福岡県	21	2	2	2			1	13	1	28.6	33.3	1.6	1.8
41 佐賀県	10	1	1	1				5	2	30.0	30.0	2.9	2.9
42 長崎県	22		3	1			1	12	5	18.2	22.7	1.7	2.1
43 熊本県	14		2	1	3	1	1	6		21.4	57.1	1.2	3.3
44 大分県	10			2	3			4	1	20.0	50.0	1.0	2.5
45 宮崎県	22		2		2	1	1	15	1	9.1	27.3	1.4	4.1
46 鹿児島県	23		3	2	1		1	11	5	21.7	30.4	1.9	2.6
47 沖縄県	22		1	2				15	4	13.6	13.6	1.8	1.8
M1 札幌市	13		3	1				6	3	30.8	30.8	2.0	2.0
M2 仙台市	16		1		2			12	1	6.3	18.8	0.8	2.4
M3 さいたま市	8		2					6		25.0	25.0	1.2	1.2
M4 千葉市	4			1	3					25.0	100.0	0.6	2.5
M5 横浜市	31	1	4	1	1	1		13	10	19.4	25.8	1.0	1.3
M6 川崎市	26	1	5	2	1			8	9	30.8	34.6	2.9	3.3
M7 新潟市	4		2					2		50.0	50.0	2.4	2.4
M8 静岡市	5			1				4		20.0	20.0	1.1	1.1
M9 浜松市	17		1	1	1	1	1	5	7	11.8	29.4	1.5	3.8
M10 名古屋市	52		6	7	2	2	1	25	9	25.0	34.6	2.3	3.2
M11 京都市	18		4	1		1	1	10	1	27.8	38.9	1.9	2.6
M12 大阪市	121	1	11	7	10	9	5	46	32	15.7	35.5	1.7	3.7
M13 堺市	14	1	2	2				5	4	35.7	35.7	3.2	3.2
M14 神戸市	5		1				1	2	1	20.0	40.0	0.3	0.7
M15 岡山市	5		1					4		20.0	20.0	1.0	1.0
M16 広島市	11	1	1	1	1	1		2	4	27.3	45.5	2.2	3.7
M17 北九州市	3		1					2		33.3	33.3	0.7	0.7
M18 福岡市	37		5	2	1	2	1	19	7	18.9	29.7	3.0	4.6

再治療肺結核中菌陽性割合

県市別掲	2007年			2008年			2009年			2007~2009年		
	再治療肺結核	再治療肺結核中菌陽性	(%)	再治療肺結核	再治療肺結核中菌陽性	(%)	再治療肺結核	再治療肺結核中菌陽性	(%)	再治療肺結核	再治療肺結核中菌陽性	(%)
全国	1409	1153	81.8	1542	1257	81.5	1,468	1,212	82.6	4,419	3,622	82.0
1 北海道	24	15	62.5	30	22	73.3	27	19	70.4	27	19	70.4
2 青森県	7	5	71.4	18	12	66.7	10	6	60.0	10	6	60.0
3 岩手県	9	7	77.8	18	16	88.9	17	14	82.4	17	14	82.4
4 宮城県	11	8	72.7	8	7	87.5	11	9	81.8	11	9	81.8
5 秋田県	10	9	90.0	11	10	90.9	10	9	90.0	10	9	90.0
6 山形県	4	4	100.0	5	4	80.0	16	14	87.5	16	14	87.5
7 福島県	18	16	88.9	13	11	84.6	22	19	86.4	22	19	86.4
8 茨城県	35	34	97.1	20	16	80.0	16	13	81.3	16	13	81.3
9 栃木県	22	19	86.4	8	5	62.5	17	17	100.0	17	17	100.0
10 群馬県	30	25	83.3	15	12	80.0	13	11	84.6	13	11	84.6
11 埼玉県	29	27	93.1	32	25	78.1	48	38	79.2	48	38	79.2
12 千葉県	39	32	82.1	63	54	85.7	51	40	78.4	51	40	78.4
13 東京都	152	119	78.3	155	125	80.6	189	167	88.4	189	167	88.4
14 神奈川県	16	13	81.3	29	24	82.8	23	21	91.3	23	21	91.3
15 新潟県	13	12	92.3	18	11	61.1	12	8	66.7	12	8	66.7
16 富山県	13	11	84.6	12	7	58.3	15	10	66.7	15	10	66.7
17 石川県	12	11	91.7	17	10	90.9	6	6	100.0	6	6	100.0
18 福井県	3	2	66.7	2	2	100.0	4	3	75.0	4	3	75.0
19 山梨県	3	3	100.0	8	8	100.0	9	7	77.8	9	7	77.8
20 長野県	5	4	80.0	8	8	100.0	9	8	88.9	9	8	88.9
21 岐阜県	23	22	95.7	24	22	91.7	24	23	95.8	24	23	95.8
22 静岡県	18	14	77.8	18	15	83.3	13	10	76.9	13	10	76.9
23 愛知県	47	40	85.1	58	50	86.2	54	45	83.3	54	45	83.3
24 三重県	33	20	60.6	30	23	76.7	26	19	73.1	26	19	73.1
25 滋賀県	9	5	55.6	25	22	88.0	15	15	100.0	15	15	100.0
26 京都府	15	12	80.0	14	11	78.6	13	12	92.3	13	12	92.3
27 大阪府	94	75	79.8	91	73	80.2	76	55	72.4	76	55	72.4
28 兵庫県	35	28	80.0	61	54	88.5	55	50	90.9	55	50	90.9
29 奈良県	18	14	77.8	17	13	76.5	23	16	69.6	23	16	69.6
30 和歌山県	22	22	100.0	24	20	83.3	32	29	90.6	32	29	90.6
31 鳥取県	4	4	100.0	7	6	85.7	2	1	50.0	2	1	50.0
32 島根県	7	6	85.7	3	3	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0
33 岡山県	21	15	71.4	23	18	78.3	15	12	80.0	15	12	80.0
34 広島県	8	8	100.0	14	11	78.6	10	8	80.0	10	8	80.0
35 山口県	7	6	85.7	15	13	86.7	9	8	88.9	9	8	88.9
36 徳島県	7	4	57.1	4	3	75.0	2	2	100.0	2	2	100.0
37 香川県	8	6	75.0	8	6	75.0	11	10	90.9	11	10	90.9
38 愛媛県	20	14	70.0	19	17	89.5	16	9	56.3	16	9	56.3
39 高知県	8	8	100.0	8	8	100.0	9	8	88.9	9	8	88.9
40 福岡県	20	15	75.0	36	34	94.4	21	15	71.4	21	15	71.4
41 佐賀県	8	7	87.5	5	4	80.0	10	7	70.0	10	7	70.0
42 長崎県	16	14	87.5	28	20	71.4	22	19	86.4	22	19	86.4
43 熊本県	27	23	85.2	13	8	61.5	14	10	71.4	14	10	71.4
44 大分県	10	7	70.0	17	12	70.6	10	9	90.0	10	9	90.0
45 宮崎県	19	15	78.9	14	12	85.7	22	20	90.9	22	20	90.9
46 鹿児島県	32	26	81.3	20	16	80.0	23	18	78.3	23	18	78.3
47 沖縄県	18	15	83.3	19	17	89.5	22	19	86.4	22	19	86.4
M1 札幌市	30	26	86.7	14	13	92.9	13	10	76.9	13	10	76.9
M2 仙台市	13	11	84.6	10	7	70.0	16	15	93.8	16	15	93.8
M3 さいたま市	15	15	100.0	15	13	86.7	8	7	87.5	8	7	87.5
M4 千葉市	5	3	60.0	12	7	58.3	4	3	75.0	4	3	75.0
M5 横浜市	32	29	90.6	38	32	84.2	31	22	71.0	31	22	71.0
M6 川崎市	19	15	78.9	34	31	91.2	26	21	80.8	26	21	80.8
M7 新潟市	4	2	50.0	4	2	50.0	4	4	100.0	4	4	100.0
M8 静岡市	8	6	75.0	10	9	90.0	5	5	100.0	5	5	100.0
M9 浜松市	8	8	100.0	12	11	91.7	17	16	94.1	17	16	94.1
M10 名古屋市	57	43	75.4	66	58	87.9	52	44	84.6	52	44	84.6
M11 京都市	17	14	82.4	21	19	90.5	18	17	94.4	18	17	94.4
M12 大阪市	144	125	86.8	128	102	79.7	121	96	79.3	121	96	79.3
M13 堺市	12	9	75.0	10	8	80.0	14	11	78.6	14	11	78.6
M14 神戸市	2	2	100.0	7	6	85.7	5	4	80.0	5	4	80.0
M15 岡山市							5	5	100.0	5	5	100.0
M16 広島市	8	5	62.5	20	14	70.0	11	9	81.8	11	9	81.8
M17 北九州市	4	4	100.0	3	2	66.7	3	2	66.7	3	2	66.7
M18 福岡市	22	15	68.2	39	23	59.0	37	29	78.4	37	29	78.4

菌陽性：総合患者分類の2.喀痰塗抹陽性再治療、3.その他結核菌陽性

治療成績

	喀痰塗抹 陽性初回 治療	治療失敗	中断・脱落	内訳		判定不能	内訳	
				60日以上 の中断 (脱落1)	標準治療 期間に満た ない (脱落2)		死亡後登 録、治療せ ず、非標準 治療 (不能1,3,4)	情報入力 が不十分 (不能2,5)
全国	8,999	1.1	3.8	0.6	3.2	13.6	5.9	7.7
1 北海道	180	0.6	3.3	0.0	3.3	17.2	6.7	10.6
2 青森県	111	0.9	7.2	0.0	7.2	15.3	2.7	12.6
3 岩手県	62	0.0	11.3	0.0	11.3	12.9	1.6	11.3
4 宮城県	54	3.7	9.3	0.0	9.3	14.8	13.0	1.9
5 秋田県	53	0.0	3.8	0.0	3.8	17.0	9.4	7.5
6 山形県	50	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0
7 福島県	112	0.0	1.8	0.0	1.8	15.2	8.0	7.1
8 茨城県	134	0.0	1.5	0.0	1.5	8.2	4.5	3.7
9 栃木県	132	3.0	6.8	3.8	3.0	10.6	6.1	4.5
10 群馬県	101	3.0	2.0	1.0	1.0	11.9	3.0	8.9
11 埼玉県	362	1.1	4.7	0.6	4.1	15.7	4.7	11.0
12 千葉県	354	1.7	4.5	1.1	3.4	8.2	6.2	2.0
13 東京都	1,168	1.2	3.0	0.2	2.8	28.6	7.9	20.7
14 神奈川県	230	1.7	4.3	0.0	4.3	30.4	9.1	21.3
15 新潟県	62	1.6	3.2	0.0	3.2	14.5	9.7	4.8
16 富山県	50	0.0	10.0	0.0	10.0	6.0	2.0	4.0
17 石川県	65	0.0	1.5	0.0	1.5	9.2	4.6	4.6
18 福井県	39	2.6	5.1	0.0	5.1	12.8	5.1	7.7
19 山梨県	41	0.0	9.8	0.0	9.8	9.8	7.3	2.4
20 長野県	91	1.1	2.2	0.0	2.2	11.0	8.8	2.2
21 岐阜県	142	1.4	2.1	0.0	2.1	4.2	2.8	1.4
22 静岡県	133	1.5	3.8	0.0	3.8	24.8	6.0	18.8
23 愛知県	334	0.6	3.3	1.2	2.1	9.0	8.1	0.9
24 三重県	127	0.0	7.9	0.0	7.9	14.2	4.7	9.4
25 滋賀県	90	0.0	2.2	0.0	2.2	14.4	4.4	10.0
26 京都府	77	1.3	2.6	0.0	2.6	6.5	5.2	1.3
27 大阪府	507	1.2	0.8	0.0	0.8	10.1	5.1	4.9
28 兵庫県	325	1.2	4.6	1.2	3.4	7.4	3.7	3.7
29 奈良県	114	1.8	2.6	0.9	1.8	4.4	3.5	0.9
30 和歌山県	87	0.0	5.7	3.4	2.3	3.4	2.3	1.1
31 鳥取県	27	0.0	7.4	0.0	7.4	7.4	3.7	3.7
32 島根県	55	0.0	1.8	0.0	1.8	7.3	5.5	1.8
33 岡山県	71	0.0	1.4	1.4	0.0	16.9	9.9	7.0
34 広島県	124	0.8	4.8	0.8	4.0	7.3	3.2	4.0
35 山口県	114	2.6	5.3	0.0	5.3	12.3	3.5	8.8
36 徳島県	60	0.0	3.3	0.0	3.3	6.7	3.3	3.3
37 香川県	69	1.4	1.4	0.0	1.4	7.2	1.4	5.8
38 愛媛県	65	3.1	4.6	1.5	3.1	7.7	3.1	4.6
39 高知県	46	6.5	8.7	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0
40 福岡県	206	0.0	4.4	0.0	4.4	8.3	4.9	3.4
41 佐賀県	55	1.8	9.1	0.0	9.1	23.6	5.5	18.2
42 長崎県	113	1.8	5.3	0.0	5.3	8.0	5.3	2.7
43 熊本県	124	1.6	6.5	0.0	6.5	13.7	8.1	5.6
44 大分県	99	0.0	2.0	0.0	2.0	10.1	7.1	3.0
45 宮崎県	71	1.4	2.8	0.0	2.8	19.7	12.7	7.0
46 鹿児島県	122	2.5	8.2	0.0	8.2	9.0	3.3	5.7
47 沖縄県	73	0.0	1.4	1.4	0.0	4.1	4.1	0.0
M1 札幌市	52	0.0	3.8	0.0	3.8	9.6	3.8	5.8
M2 仙台市	33	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	6.1
M3 さいたま市	93	1.1	2.2	1.1	1.1	9.7	8.6	1.1
M4 千葉市	61	1.6	1.6	0.0	1.6	11.5	9.8	1.6
M5 横浜市	235	0.9	3.0	0.0	3.0	14.0	5.1	8.9
M6 川崎市	103	0.0	3.9	0.0	3.9	6.8	4.9	1.9
M7 新潟市	39	2.6	5.1	0.0	5.1	12.8	0.0	12.8
M8 静岡市	55	0.0	1.8	1.8	0.0	14.5	9.1	5.5
M9 浜松市	49	2.0	6.1	0.0	6.1	14.3	6.1	8.2
M10 名古屋市	226	0.9	2.7	1.3	1.3	16.4	11.5	4.9
M11 京都市	129	0.8	4.7	0.8	3.9	14.7	10.1	4.7
M12 大阪市	495	1.2	4.0	3.4	0.6	5.9	5.9	0.0
M13 堺市	119	0.8	0.0	0.0	0.0	10.1	7.6	2.5
M14 神戸市	152	2.0	7.9	0.0	7.9	9.9	2.6	7.2
M15 岡山市	42	0.0	2.4	0.0	2.4	11.9	2.4	9.5
M16 広島市	67	0.0	4.5	0.0	4.5	22.4	0.0	22.4
M17 北九州市	77	0.0	3.9	2.6	1.3	2.6	2.6	0.0
M18 福岡市	91	0.0	4.4	0.0	4.4	13.2	2.2	11.0

接触者健診による発見割合

(50歳未満)	2007年			2008年			2009年			2007~2009年		
	全結核	接触者 健診発見	割合 (%)	全結核	接触者 健診発見	割合 (%)	全結核	接触者 健診発見	割合 (%)	全結核	接触者 健診発見	割合 (%)
全国	6460	395	6.1	6178	447	7.2	5923	350	5.9	18561	1192	6.4
1 北海道	86	10	11.6	54	6	11.1	56	4	7.1	196	20	10.2
2 青森県	61	5	8.2	61	16	26.2	42	3	7.1	164	24	14.6
3 岩手県	16	0	0.0	35	5	14.3	28	4	14.3	79	9	11.4
4 宮城県	20	1	5.0	27	5	18.5	17	0	0.0	64	6	9.4
5 秋田県	30	4	13.3	16	0	0.0	17	0	0.0	63	4	6.3
6 山形県	35	4	11.4	30	10	33.3	23	3	13.0	88	17	19.3
7 福島県	48	3	6.3	78	7	9.0	58	2	3.4	184	12	6.5
8 茨城県	147	8	5.4	137	14	10.2	125	8	6.4	409	30	7.3
9 栃木県	55	2	3.6	58	5	8.6	66	8	12.1	179	15	8.4
10 群馬県	87	6	6.9	51	3	5.9	54	2	3.7	192	11	5.7
11 埼玉県	359	29	8.1	326	22	6.7	309	24	7.8	994	75	7.5
12 千葉県	334	23	6.9	296	19	6.4	327	17	5.2	957	59	6.2
13 東京都	1200	69	5.8	1171	70	6.0	1164	44	3.8	3535	183	5.2
14 神奈川県	209	14	6.7	205	13	6.3	198	7	3.5	612	34	5.6
15 新潟県	31	4	12.9	35	0	0.0	26	0	0.0	92	4	4.3
16 富山県	26	0	0.0	27	0	0.0	22	1	4.5	75	1	1.3
17 石川県	34	2	5.9	35	1	2.9	23	3	13.0	92	6	6.5
18 福井県	17	0	0.0	20	1	5.0	32	2	6.3	69	3	4.3
19 山梨県	20	0	0.0	18	1	5.6	21	0	0.0	59	1	1.7
20 長野県	50	1	2.0	44	3	6.8	48	2	4.2	142	6	4.2
21 岐阜県	120	10	8.3	87	4	4.6	68	2	2.9	275	16	5.8
22 静岡県	83	2	2.4	83	6	7.2	56	3	5.4	222	11	5.0
23 愛知県	265	11	4.2	257	13	5.1	227	14	6.2	749	38	5.1
24 三重県	69	5	7.2	78	8	10.3	63	5	7.9	210	18	8.6
25 滋賀県	51	4	7.8	54	9	16.7	55	1	1.8	160	14	8.8
26 京都府	48	4	8.3	42	3	7.1	42	2	4.8	132	9	6.8
27 大阪府	357	27	7.6	324	32	9.9	336	35	10.4	1017	94	9.2
28 兵庫県	193	9	4.7	196	11	5.6	164	7	4.3	553	27	4.9
29 奈良県	62	7	11.3	70	4	5.7	45	6	13.3	177	17	9.6
30 和歌山県	40	1	2.5	38	8	21.1	31	1	3.2	109	10	9.2
31 鳥取県	18	1	5.6	17	1	5.9	8	0	0.0	43	2	4.7
32 島根県	13	0	0.0	23	4	17.4	15	1	6.7	51	5	9.8
33 岡山県	56	2	3.6	60	3	5.0	41	2	4.9	157	7	4.5
34 広島県	59	2	3.4	63	5	7.9	57	4	7.0	179	11	6.1
35 山口県	43	3	7.0	34	3	8.8	30	1	3.3	107	7	6.5
36 徳島県	29	3	10.3	23	1	4.3	23	1	4.3	75	5	6.7
37 香川県	21	0	0.0	22	0	0.0	40	3	7.5	83	3	3.6
38 愛媛県	45	7	15.6	35	4	11.4	41	2	4.9	121	13	10.7
39 高知県	23	0	0.0	20	3	15.0	20	1	5.0	63	4	6.3
40 福岡県	116	10	8.6	90	4	4.4	88	6	6.8	294	20	6.8
41 佐賀県	27	0	0.0	29	4	13.8	21	3	14.3	77	7	9.1
42 長崎県	40	2	5.0	60	5	8.3	56	9	16.1	156	16	10.3
43 熊本県	51	4	7.8	36	4	11.1	46	1	2.2	133	9	6.8
44 大分県	39	6	15.4	54	12	22.2	45	2	4.4	138	20	14.5
45 宮崎県	28	1	3.6	28	1	3.6	35	5	14.3	91	7	7.7
46 鹿児島県	78	1	1.3	72	4	5.6	62	4	6.5	212	9	4.2
47 沖縄県	41	3	7.3	41	0	0.0	39	4	10.3	121	7	5.8
M1 札幌市	57	9	15.8	48	5	10.4	36	7	19.4	141	21	14.9
M2 仙台市	38	6	15.8	46	3	6.5	40	2	5.0	124	11	8.9
M3 さいたま市	74	6	8.1	82	6	7.3	60	0	0.0	216	12	5.6
M4 千葉市	63	1	1.6	59	3	5.1	78	4	5.1	200	8	4.0
M5 横浜市	244	10	4.1	217	16	7.4	235	16	6.8	696	42	6.0
M6 川崎市	107	2	1.9	107	5	4.7	123	6	4.9	337	13	3.9
M7 新潟市	24	2	8.3	20	2	10.0	18	2	11.1	62	6	9.7
M8 静岡市	18	2	11.1	17	2	11.8	17	0	0.0	52	4	7.7
M9 浜松市	29	1	3.4	35	1	2.9	31	4	12.9	95	6	6.3
M10 名古屋市	196	6	3.1	163	5	3.1	180	12	6.7	539	23	4.3
M11 京都市	73	1	1.4	60	7	11.7	70	5	7.1	203	13	6.4
M12 大阪市	355	19	5.4	346	13	3.8	339	15	4.4	1040	47	4.5
M13 堺市	59	5	8.5	59	5	8.5	46	2	4.3	164	12	7.3
M14 神戸市	86	7	8.1	83	3	3.6	78	4	5.1	247	14	5.7
M15 岡山市							22	0	0.0	22	0	0.0
M16 広島市	43	0	0.0	38	2	5.3	40	2	5.0	121	4	3.3
M17 北九州市	42	2	4.8	44	3	6.8	21	1	4.8	107	6	5.6
M18 福岡市	72	6	8.3	94	9	9.6	79	9	11.4	245	24	9.8

全結核中潜在性結核感染症割合

(50歳未満)	2008年			2009年			2008~2009年		
	全結核	LTBI	LP比 (LTBI/ 全結核)	全結核	LTBI	LP比 (LTBI/ 全結核)	全結核	LTBI	LP比 (LTBI/ 全結核)
全国	6178	4046	0.7	5923	3489	0.6	12101	7535	0.6
1 北海道	54	23	0.4	56	39	0.7	110	62	0.6
2 青森県	61	130	2.1	42	72	1.7	103	202	2.0
3 岩手県	35	35	1.0	28	33	1.2	63	68	1.1
4 宮城県	27	37	1.4	17	20	1.2	44	57	1.3
5 秋田県	16	22	1.4	17	23	1.4	33	45	1.4
6 山形県	30	83	2.8	23	28	1.2	53	111	2.1
7 福島県	78	58	0.7	58	31	0.5	136	89	0.7
8 茨城県	137	175	1.3	125	75	0.6	262	250	1.0
9 栃木県	58	15	0.3	66	15	0.2	124	30	0.2
10 群馬県	51	19	0.4	54	19	0.4	105	38	0.4
11 埼玉県	326	156	0.5	309	183	0.6	635	339	0.5
12 千葉県	296	203	0.7	327	215	0.7	623	418	0.7
13 東京都	1171	666	0.6	1164	562	0.5	2335	1228	0.5
14 神奈川県	205	78	0.4	198	51	0.3	403	129	0.3
15 新潟県	35	4	0.1	26	6	0.2	61	10	0.2
16 富山県	27	20	0.7	22	15	0.7	49	35	0.7
17 石川県	35	10	0.3	23	22	1.0	58	32	0.6
18 福井県	20	14	0.7	32	18	0.6	52	32	0.6
19 山梨県	18	4	0.2	21	3	0.1	39	7	0.2
20 長野県	44	40	0.9	48	53	1.1	92	93	1.0
21 岐阜県	87	54	0.6	68	41	0.6	155	95	0.6
22 静岡県	83	51	0.6	56	26	0.5	139	77	0.6
23 愛知県	257	188	0.7	227	185	0.8	484	373	0.8
24 三重県	78	60	0.8	63	48	0.8	141	108	0.8
25 滋賀県	54	28	0.5	55	29	0.5	109	57	0.5
26 京都府	42	35	0.8	42	37	0.9	84	72	0.9
27 大阪府	324	204	0.6	336	213	0.6	660	417	0.6
28 兵庫県	196	94	0.5	164	92	0.6	360	186	0.5
29 奈良県	70	65	0.9	45	54	1.2	115	119	1.0
30 和歌山県	38	52	1.4	31	32	1.0	69	84	1.2
31 鳥取県	17	18	1.1	8	14	1.8	25	32	1.3
32 島根県	23	22	1.0	15	22	1.5	38	44	1.2
33 岡山県	60	45	0.8	41	34	0.8	101	79	0.8
34 広島県	63	90	1.4	57	45	0.8	120	135	1.1
35 山口県	34	24	0.7	30	16	0.5	64	40	0.6
36 徳島県	23	11	0.5	23	29	1.3	46	40	0.9
37 香川県	22	15	0.7	40	20	0.5	62	35	0.6
38 愛媛県	35	23	0.7	41	33	0.8	76	56	0.7
39 高知県	20	20	1.0	20	16	0.8	40	36	0.9
40 福岡県	90	40	0.4	88	45	0.5	178	85	0.5
41 佐賀県	29	8	0.3	21	28	1.3	50	36	0.7
42 長崎県	60	23	0.4	56	21	0.4	116	44	0.4
43 熊本県	36	32	0.9	46	27	0.6	82	59	0.7
44 大分県	54	28	0.5	45	12	0.3	99	40	0.4
45 宮崎県	28	44	1.6	35	26	0.7	63	70	1.1
46 鹿児島県	72	21	0.3	62	31	0.5	134	52	0.4
47 沖縄県	41	16	0.4	39	38	1.0	80	54	0.7
M1 札幌市	48	44	0.9	36	57	1.6	84	101	1.2
M2 仙台市	46	50	1.1	40	21	0.5	86	71	0.8
M3 さいたま市	82	40	0.5	60	19	0.3	142	59	0.4
M4 千葉市	59	50	0.8	78	28	0.4	137	78	0.6
M5 横浜市	217	121	0.6	235	117	0.5	452	238	0.5
M6 川崎市	107	65	0.6	123	51	0.4	230	116	0.5
M7 新潟市	20	26	1.3	18	9	0.5	38	35	0.9
M8 静岡市	17	3	0.2	17	5	0.3	34	8	0.2
M9 浜松市	35	44	1.3	31	11	0.4	66	55	0.8
M10 名古屋市	163	86	0.5	180	99	0.6	343	185	0.5
M11 京都市	60	38	0.6	70	43	0.6	130	81	0.6
M12 大阪市	346	180	0.5	339	166	0.5	685	346	0.5
M13 堺市	59	52	0.9	46	25	0.5	105	77	0.7
M14 神戸市	83	51	0.6	78	46	0.6	161	97	0.6
M15 岡山市				22	23	1.0	22	23	1.0
M16 広島市	38	42	1.1	40	25	0.6	78	67	0.9
M17 北九州市	44	11	0.3	21	10	0.5	65	21	0.3
M18 福岡市	94	40	0.4	79	37	0.5	173	77	0.4

ハイリスクグループ健診による発見割合

	2008年						2009年						2008～2009年		
	外国人	健診発見	(%)	ホーム レス経験 有り	健診発見	(%)	外国人	健診発見	(%)	ホーム レス経験 有り	健診発見	(%)	外国人/ ホーム レス経験 有り	健診発見	(%)
全国	945	264	27.9	330	60	18.2	938	275	29.3	380	75	19.7	2593	674	26.0
1 北海道	3	1	33.3	3		0.0	4	1	25.0				10	2	20.0
2 青森県	2		0.0	1	1	100.0	2		0.0	1		0.0	6	1	16.7
3 岩手県	1		0.0							1		0.0	2	0	0.0
4 宮城県	8	6	75.0	1		0.0	2		0.0				11	6	54.5
5 秋田県	1		0.0	1		0.0	2		0.0				4	0	0.0
6 山形県	5	3	60.0	1	1	100.0	5		0.0	1		0.0	12	4	33.3
7 福島県	15	5	33.3	2		0.0	9	2	22.2	2		0.0	28	7	25.0
8 茨城県	18	6	33.3	1		0.0	21	7	33.3	2		0.0	42	13	31.0
9 栃木県	17	2	11.8	1		0.0	15	4	26.7				33	6	18.2
10 群馬県	25	4	16.0	1		0.0	28	5	17.9	1		0.0	55	9	16.4
11 埼玉県	47	12	25.5	6	2	33.3	48	12	25.0	27	4	14.8	128	30	23.4
12 千葉県	34	5	14.7	18	5	27.8	42	8	19.0	22	9	40.9	116	27	23.3
13 東京都	179	53	29.6	151	31	20.5	160	49	30.6	155	34	21.9	645	167	25.9
14 神奈川県	28	5	17.9	5		0.0	22	4	18.2	4	2	50.0	59	11	18.6
15 新潟県	8	3	37.5				4	1	25.0				12	4	33.3
16 富山県	6	3	50.0	1		0.0	6	2	33.3				13	5	38.5
17 石川県	7	2	28.6	1		0.0	3		0.0				11	2	18.2
18 福井県	4	2	50.0	2	1	50.0	9	1	11.1				15	4	26.7
19 山梨県	5	1	20.0				6		0.0				11	1	9.1
20 長野県	16	4	25.0	2		0.0	11	4	36.4	1		0.0	30	8	26.7
21 岐阜県	34	6	17.6	1		0.0	15	3	20.0				50	9	18.0
22 静岡県	30	4	13.3	4		0.0	18	2	11.1	1		0.0	53	6	11.3
23 愛知県	75	13	17.3	9	3	33.3	54	16	29.6	7		0.0	145	32	22.1
24 三重県	22	8	36.4	1		0.0	17	2	11.8	1		0.0	41	10	24.4
25 滋賀県	11	5	45.5				5	2	40.0	3		0.0	19	7	36.8
26 京都府	3	1	33.3	1		0.0							4	1	25.0
27 大阪府	13	2	15.4	11		0.0	34	15	44.1	8	1	12.5	66	18	27.3
28 兵庫県	19	6	31.6	3		0.0	19	4	21.1	1		0.0	42	10	23.8
29 奈良県	4	2	50.0				2	2	100.0	2		0.0	8	4	50.0
30 和歌山県	3	1	33.3	1		0.0	1	1	100.0	1		0.0	6	2	33.3
31 鳥取県	2	2	100.0				3	2	66.7				5	4	80.0
32 島根県	6	3	50.0				4	1	25.0				10	4	40.0
33 岡山県	20	8	40.0	2		0.0	11	7	63.6	1		0.0	34	15	44.1
34 広島県	18	6	33.3				17	5	29.4				35	11	31.4
35 山口県	3	3	100.0				9	3	33.3				12	6	50.0
36 徳島県	2		0.0				7	5	71.4				9	5	55.6
37 香川県	4		0.0	1		0.0	11	4	36.4	1		0.0	17	4	23.5
38 愛媛県	4	2	50.0	1	1	100.0	2		0.0				7	3	42.9
39 高知県	2	1	50.0				1		0.0	1		0.0	4	1	25.0
40 福岡県	9		0.0	2		0.0	7	1	14.3	3	1	33.3	21	2	9.5
41 佐賀県	2	1	50.0	3	1	33.3	3	2	66.7				8	4	50.0
42 長崎県	9	5	55.6	2		0.0	6	3	50.0	1		0.0	18	8	44.4
43 熊本県	8	4	50.0	5	1	20.0	2	1	50.0	3		0.0	18	6	33.3
44 大分県	6	4	66.7	1		0.0	10	4	40.0	3		0.0	20	8	40.0
45 宮崎県	1		0.0	2		0.0	1		0.0	2		0.0	6	0	0.0
46 鹿児島県	1		0.0				4		0.0	4	1	25.0	9	1	11.1
47 沖縄県	3		0.0				4	2	50.0	2	1	50.0	9	3	33.3
M1 札幌市	4		0.0				6	1	16.7	1	1	100.0	11	2	18.2
M2 仙台市	5	4	80.0	3	2	66.7	10	7	70.0	6		0.0	24	13	54.2
M3 さいたま市	8	2	25.0	5		0.0	7	1	14.3	6		0.0	26	3	11.5
M4 千葉市	15	4	26.7				20	5	25.0	2		0.0	37	9	24.3
M5 横浜市	35	10	28.6	13	2	15.4	39	9	23.1	19	5	26.3	106	26	24.5
M6 川崎市	8	1	12.5	11	2	18.2	19	4	21.1	12	1	8.3	50	8	16.0
M7 新潟市	3		0.0				1	1	100.0	1		0.0	5	1	20.0
M8 静岡市	5	2	40.0				6	2	33.3				11	4	36.4
M9 浜松市	14	7	50.0				16	5	31.3	2		0.0	32	12	37.5
M10 名古屋市	22	3	13.6	27	5	18.5	49	13	26.5	33	8	24.2	131	29	22.1
M11 京都市	11	4	36.4	3	1	33.3	11	3	27.3	10		0.0	35	8	22.9
M12 大阪市	29	8	27.6	6	1	16.7	37	11	29.7	8	4	50.0	80	24	30.0
M13 堺市				2		0.0	2	1	50.0				4	1	25.0
M14 神戸市	3	1	33.3				10	1	10.0	3		0.0	16	2	12.5
M15 岡山市							9	7	77.8	2		0.0	11	7	63.6
M16 広島市	9	1	11.1	1		0.0	8	2	25.0				18	3	16.7
M17 北九州市	8	2	25.0	3		0.0	3	2	66.7	4		0.0	18	4	22.2
M18 福岡市	23	11	47.8	8		0.0	19	13	68.4	9	3	33.3	59	27	45.8

健診発見：1.個別健診、2.学校健診、3.住民健診、4.職場健診、5.施設健診、6.家族接触者健診、7.その他接触者健診、8.その他の集団健診 の計

